



### ○営業時間の変更について

令和5年3月31日(金) 13時まで営業(決算棚卸のため)

令和5年4月1日(土)より閉店時間が16時に変更になります。

令和5年4月3日(月) 12時より営業(決算棚卸のため)

令和5年4月28日(金) 15時まで営業

### ○西部農機センター出張サービスについて

農機出張サービスについては令和4年度で終了します。故障や、調子の悪い農機具は湯河原営農経済センターまでお持ちください。運べないものについては農機センター職員が対応します。

### ○JA直売所等における令和4年度「湘南潮彩レモン」の名称使用について

名称使用にあたっての提出書類 「使用申請書」・「生産履歴」

提出先 支店センター直売所での販売・・・支店、センター

使用できる品種

ピアフランカ・アレンユーレカ・リスボン等の高酸系レモン。

使用できない品種

マイヤーレモン・璃の香等のスイート系品種。

使用できる場所

湯河原営農経済センター直売所1号店・2号店、朝ドレファーム、Aコープ。

使用できない場所

JAで精算を行っていないレモン。上記以外の直売所、庭先販売、スーパー等へ販売するレモン。

※詳しくはセンター窓口にお問い合わせください。

### ○令和5年度作物別手引き(栽培編・防除編)の更新について

「令和5年度版作物別手引き(栽培編・防除編)」を作成いたしましたので、ご活用頂くようお願いいたします。また、令和4年度より作物別手引き書につきましては、**冊子での作成・配布は行っておりません**ので、手引き書の取得に際しては、最寄りの営農経済センター窓口までご希望の作物をお申し付け頂くよう願います。

※ホームページにも掲載しておりますので、そちらでも閲覧できます。令和5年4月1日より掲載予定。(当組合HP：<https://ja-kanasei.or.jp/>まで)

——【温州みかん・中晩柑】 \*下線部は重要防除です。必ず防除しましょう。——

#### 病害虫防除

4月上旬

○ミカンハダニ アタックオイル又はハーベストオイル 100倍 1,000ml/水100ℓ  
(ハダニ防除は冬季に散布した場合は不要)(3月散布の場合は80倍)

4月上中旬 (温州みかん)

○そうか病 イデクリーン水和剤 500倍 200g/水100ℓ  
(薬害軽減のためクレフノン200倍を加用する)

又は デランフロアブル (劇) 収穫前30日 3回 1000倍 100ml/水100ℓ

※イデクリーン水和剤はマシン油乳剤との混用およびマシン油乳剤散布後14日以内の近接散布は避けてください。

——【かき】——

#### 病害虫防除

4月下旬~5月上旬

○カイガラムシ類・アザミウマ類 モスピラン顆粒水溶剤 (劇) 収穫前日 3回 4000倍 25g/100ℓ

○落葉病 エムダイファー水和剤 収穫45日前 2回 650倍 153g/100ℓ

——【う め】\*下線部は重要防除です。必ず防除しましょう。——

**病害虫防除**

4月上中旬 かいよう病 マイコシールド 収穫21日前 4回 1,500倍 66g/水100ℓ  
黒星病 ベルコート水和剤 収穫30日前 3回 2,000倍 50g/水100ℓ  
アブラムシ類・蚜類 マブリック水和剤20(劇) 収穫21日前 2回 4,000倍 25g/水100ℓ  
又はダントツ水溶剤 収穫前日 3回 2,000倍 50g/水100ℓ

4月下旬 かいよう病 マイコシールド 収穫21日前 4回 1,500倍 66g/水100ℓ  
黒星病 ストロビードライフロアブル 収穫7日前 3回 3,000倍 33g/水100ℓ

5月上旬 黒星病・すす斑病 スコア顆粒水和剤 収穫前日 3回 3,000倍 33g/水100ℓ

**<黒星病の防除について>**

昨年は黒星病の発生が非常に多い年でした！4月上旬、下旬、5月上旬の春先の防除が有効になりますので徹底しましょう！特に、今まで5月上旬の防除をされていない園は、4月の防除に加え今年は必ず防除をするようにしましょう！

\*2週間間隔で散布しましょう。

\*前年の被害枝は切除しましょう。

**摘 果** 4月下旬～5月上旬

果実の大きさが大豆程になった頃が適期です。早く仕上げるほど、肥大はよくなります。

樹木の着果量を確認して小玉果や群状結実しているところを摘果しましょう。

特に梅酒用品種は早期大玉果の出荷が高単価につながります。

——【キウイフルーツ】——

安定した価格で取引されています。高品質な果実生産のため、防除を徹底しましょう。

4月中下旬 花腐細菌病・かいよう病 コサイド3000 2,000倍 50g/水100ℓ  
(薬害軽減のためクレフノン200倍を加用する)

——【野 菜】——

**定植準備** 3月下旬より

定植約1ヶ月前、苦土ワカと堆肥を施用し、よく耕耘して野菜苗の定植準備をしましょう。

購入した苗を定植する場合、栽培環境に慣らすためすぐに定植せず1週間程度は畑の近くに置いておきましょう。また、定植数日前にマルチをかけ地温を高めておくと根の活着が良くなります。

**元 肥** 定植前に施しましょう。1aあたりの使用量

	ジシアンS 806	ようりん
トマト	13kg	3.5kg
ナス	15kg	2.5kg
キュウリ	15kg	4.0kg

——【お 茶】——

**施 肥** 4月 芽出し肥 摘採20～30日前に10aあたり硫安40kg(2回に分けて行う)

**一番茶の摘採**

本茶の摘採 4～5葉展開を待ち1芯3～4葉を摘みましょう。

刈番茶の摘採 遅れ芽が揃ってから行いましょう。(摘採後7～15日)

一番茶の摘採面で刈る事がポイントです。

一番茶の刈り残し(残してきた1～2節)を絶対にとらないこと。

※摘採後は生葉ムシに注意し、日陰の涼しい所で管理しましょう。

農薬を使用する際は、適用作物・希釈倍数・使用回数・使用方法等の使用基準を遵守するとともに飛散防止に努め、ラベルをよく確認し、必ずラベルに基づいて使用しましょう。